

# きららだより

平成27年4月号  
(冬春号Vol.12)

3月31日(火) お花見レクにて  
良いお天気に恵まれました！



## コラム 主治医の処方箋(その6)

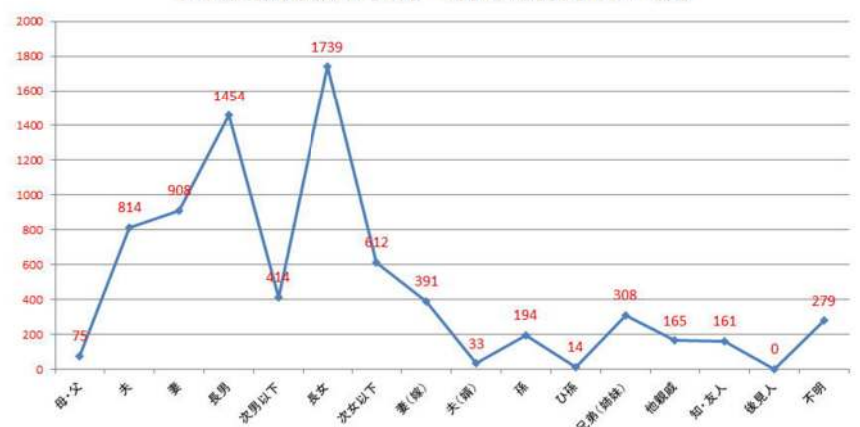
## 高齢者を支える家族の絆

日本の平均寿命(余命)は年々延長し、昨年度は83歳になっています。昭和60年から30年間も世界一の長寿国を維持してきていますが、その要因は、①国が経済的に豊かになり、国民の栄養状態が非常に良くなったこと、②医療技術の進歩に併せて公衆衛生活動が活発に行われ、③国民の健康に対する認識が非常に高まったことに由ると思います。

また、昨年度は日本の117歳の女性が世界一の長寿者に数年ぶりになり、日本は名実ともに世界の最長寿国であると言っても良いと思います。この方の生活状況がテレビで放映され、多くのご家族に囲まれて穏やかな表情：笑尉(しょうじょう)が印象的でしたが、これはご家族の絆により精神的サポートが非常に良く行われている証で感銘いたしました。

ところで、本施設に入所されている方の面会に、ご家族をはじめ多くの方々が来られています。このようなご家族の面会ならびに介助により、ご入所の方の表情・行動が一変するのが見られます。例えば、抑うつ的表情が笑顔に変わり、ご家族の一匙ずつの食介助により開口され、摂食される様子が見られます。ご家族の面会・介助は精神薬より有効で、最良の精神療法であると思います。

面会回数(平成26年4月～9月の6ヶ月間の延べ数)



図に示しますように、面会回数は子供が最も多く、次いで伴侶の夫あるいは妻が多いですが、他には親戚、知人、孫、ひ孫、両親が面会に来所されています。多くの方は多忙な仕事の中で家族の世話・教育で忙しい時間の合間に、ご自分の体調は優れないが、面会に来られています。

このようなご家族の絆は、ご高齢者にとって精神的なサポートとなり、長寿の要因となっていると考えられます。

家族の離散、核家族が急速に進む今日の超高齢化社会において、今後、如何に家族の絆を保持するのか、良い方策が執られることを期待している次第です。

河野施設長



## 新任ご挨拶

4月より看護部長として就任いたしました菅原と申します。この施設の第一印象は、職員の笑顔と気持ちの良い挨拶でした。職員が楽しく充実して仕事をしているのだな、と感じました。ご利用者様へ笑顔で声をかけている姿は、ご利用者様はもちろんのこと、ご家族様にも安心をご提供できるのではないのでしょうか。今後、自分自身の経験も活かしていけるよう、皆様にいろいろ教えていただき、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

菅原看護部長

栄養課では、ご利用者様が毎日お元気でお過ごしいただけますよう、心をこめたお食事をご提供させていただきます。

お食事は生きる喜びであり、「楽しみ」とおっしゃるご利用者様がたくさんいらっしゃいます。栄養課では、毎日の食事の他、ご利用者様に喜んでいただけますよう、季節に合わせた行事食やおやつバイキング等

の食事サービスをさせていただいております。

今の季節は、桜がきれいに咲き、春の訪れを感じさせてくれます。栄養課では、旬の食材を使用したお花見弁当をご提供させていただきました。暖かい陽気の中で召し上がっていただき、お食事を通して四季折々の季節感を味わっていただければと思います。

また、お食事は楽しみであると同時に、生きるために必要な栄養を摂取する生命維持の源でもあります。

きららでのお食事は、医師による食事指示にもとづき、お一人お一人に合わせた食事内容でご提供しております。

管理栄養士は食事時間にラウンドさせていただき、摂取状況の確認それにご利用者様からのいろいろなご

意見やご要望を伺っております。ご利用者様の中には、胃瘻より栄養を摂取されている方や経口訓練をされている方もいらっしゃいます。医師の指示のもと、安全に必要な栄養が摂取できますようご支援させていただいております。ご利用者様の疾患等の状態やご希望によりお食事内容は異なりますが、安全に美味しく召し上がっていただけますよう、他の職種ともしっかり連携してまいります。

これからもご利用者様がお元気で過ごしいただけますよう、今日も美味しかった、と仰っていただけるように、努力してまいります。

内田管理栄養士  
(1月より栄養課配属)

きらら栄養課では、管理栄養士常勤2名体制でお食事をご提供させていただいております。ご意見ご要望等ございましたら、お気軽にお声かけください。

## 時事通信

ご家族の皆様、当施設の事務局長をしております井藤輝と申します。写真を見ればどこかで見かけたことのあるお寺の和尚のような感もありますが、介護に携わる仕事について20年の歳月を費やしている、介護分野の古参組に属します。

この20年の間に、度重なる介護法の改正により厚労省が行ってきた国策は、高齢者や高齢者を介護する施設に対して優しさの無い政策である気がします。現場を預かっている職員は昼夜、ご利用者様の健康状態や日常生活状況を判断しながら、安心して生活のできる施設づくりに奮闘しております。介護の分野で働く職員は心優しい人間でなければ務まりません。そのような職員を育てるうえで、改正のたびに介護報酬の切り下げが行われては、施設を運営する当方においても厳しい条件が迫られます。

今後、同じような政策が続けられることにより、介護士、看護師、理学療法士等の職員の確保が非常に困難になることは歴然です。超高齢化社会を目前として、国の政策について一人一人が判断していき、国民の力で超高齢化社会の構築を考えていく良い機会だと思われます。シュプレヒコール「お年寄りを大切に国家は歴史を重んじ、未来に向けて大きく発展していく思いやりのある国家である」はまさにそのとおりだと思います。日本はそうあってほしい、私だけの願望でしょうか。

井藤事務局長



## エレクトーン演奏会

1月27日(火) 4階にて

白樺〜♪、あおぞ〜ら、みんな〜みかぜ〜♪♪

笑顔がお花のように輝き、エレクトーンの音色に合わせて右に左に揺れている…。

ボランティアの方が心をこめて準備してくださった歌詞カードを手にも、華やいだ歌声がフロアいっぱいにこだましました。

若いボランティアの方のリズミカルな演奏に合わせて唄うご利用者様の声は熱を運び、美しいハーモニーとなって4階フロアの隅々にまで届いているようで、直接参加されていなかったご利用者様の方も「懐かしいわ!」と、思わず口ずさんでいらっしゃいました。心は若き時代へと遊びに出かけられたご様子に見受けられました。

短い時間ではありましたが、遠く楽しいひとときを皆様と共有できた永い時間でもありました。



4階介護士

## 介護報酬改定についてのお知らせ

3年に一度行われる介護報酬改定が、この4月より施行されます。厚労省社会保障審議会の「平成27年度介護報酬改定に関する審議報告」によると本改定は「平成37年に向けて医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築を実現していくた

め、平成26年度制度改正の趣旨を踏まえ、中重度の要介護者や認知症高齢者への対応の更なる強化、介護人材確保対策の推進、サービス評価の適正化と効率的なサービス提供体制の構築といった基本的な考え方に基き行う」とあり、その改定率は▲2.27%（うち在宅分▲1.42%、施設分▲0.85%）となっております。そこで、平成27年4月ご利用分から、弊施設においても上記改定を受けた料金表が適用となります。

今回の改定に伴い、更なるサービスの向上に努めてまいります。今後とも皆様のご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。